

『世界一ためになる、ひまつぶし。』

2014. 4.26(土) — 5.6(火・休)

シンポジウム

大阪発！2020オリンピックイヤーへの夢ビジョン

～科学技術イノベーション政策にモノ申してみた～

PESTI代表
加納圭

滋賀大学教育学部理科教育講座 准教授

(兼)京都大学物質－細胞統合システム拠点(WPI-iCeMS)

科学コミュニケーショングループ 特任准教授



STIに向けた政策プロセスへの関心層別関与フレーム設計
Framework for Broad Public Engagement
in Science, Technology and Innovation Policy



お届け先＝文部科学省「夢ビジョン」勉強会



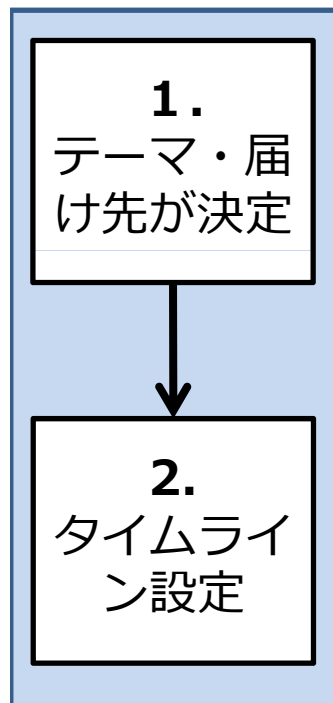
15人の若手文科省職員との文科省版の「夢ビジョン」、これは仮称ですが、に係る勉強会を開催いたします。

これは、私が文科省の若手職員とともに、ターゲットイヤー2020年における我が国のあるべき姿と、そのために必要な文部科学政策について一緒に考えるものであります。

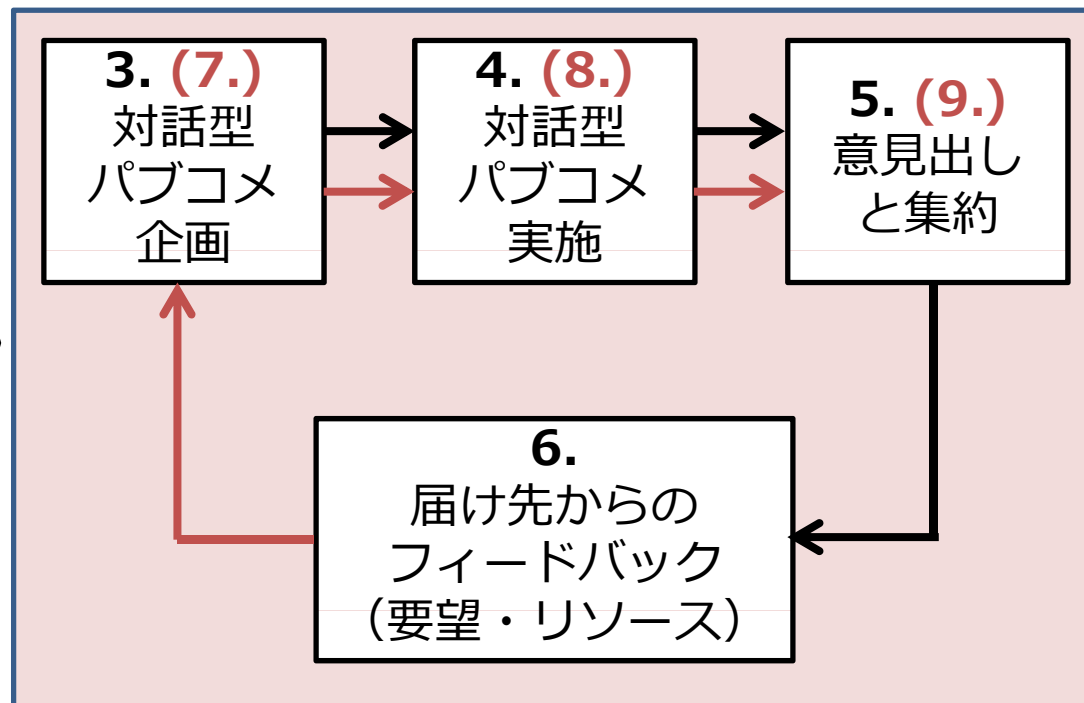
下村博文文部科学大臣記者会見録(平成25年10月4日)より

お届けするまでのプロセス

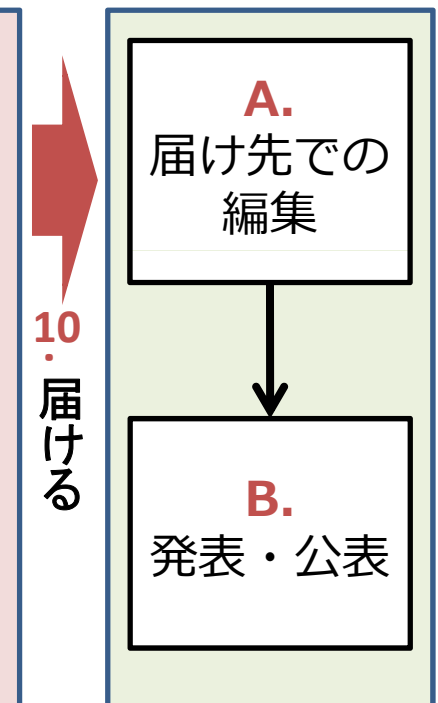
将来
ビジョン
について



市民が集まって対話して、
結果を集約してお届けする



将来
ビジョン
を政策へ



10. 届ける

B. 発表・公表

夢ビジョン2020 ～徹底的に「みんなの夢」を語ろう～（概要）

文部科学省「夢ビジョン勉強会」

注）資料中、「オリンピック大会」とはオリンピック、パラリンピックの両方を含む

Q. オリンピック大会の成功と、付随する経済効果への期待にとどまらず、日本の将来に向けた変化の“**大きなうねり**”とすることが必要

A. オリンピックの成功は、**日本人・日本社会の転換の上に成り立つ！**と理解し、行動の評価軸となる明快なコンセプトを定めてその達成に邁進する（動く）！

バージョンアップ



オリンピックに向けた「夢」

省内意見・熟議（約350件）及び、市民とのワークショップ、若手アスリート・アーティスト・研究者、産業界や研究機関などと集中的な意見交換を行い、アイデアを収集！

ワクワク・カッコいい → 「感動」

他者とのつながり・多様性 → 「対話」

快適性・利便性・効率性・安全・安心・ゆとり → 「成熟」

3つは約束！

上記を踏まえた大会成功へのコンセプト

『オリンピックの感動に触れる。私が変わる。社会が変わる。』

如何に安全・確実な大会運営を実現するか
世界を魅了するダイナミックな祭典を達成
超臨場感での観戦や、ボランティア等様々な大会との関わり

スポーツ、アスリートから感じる、学ぶ
国や世代を超えた「対話」と「共有」
文化を楽しめる力の育成

結果として、日本文化の「成熟」と発信、高齢者の活力活用、地域社会の活力・豊かさの活用、豊かな環境の保全や社会基盤の整備等、我が国の社会的課題解決に直結する

具体案

コンセプト達成の方策案。今後、様々な対話、熟議を通じて議論し、確実に実現にうつす！

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●メダル最多獲得（ロンドンから倍増の80！） ●世界水準のトレーニング施設。オリンピックツーリズム | <ul style="list-style-type: none"> ●どこでもスポーツ環境 ●夢大使による子どもたちの夢実現支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●全国バリアフリー化 ●スポーツボランティア推進、寄付文化 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●日本独特の運動会をエキシビション等で披露 ●日本文化に触れる情報提供システム整備 | <ul style="list-style-type: none"> ●文化鑑賞促進プロジェクト ●ポップカルチャーの拠点形成 | <ul style="list-style-type: none"> ●芸術競技を復活・リニューアル ●上野・文化回廊を世界規模の都市博物館、美術館に |
| <ul style="list-style-type: none"> ●五輪憲章の精神を学校教育に活かす（教材の開発等） ●知のオリンピックも全国開催（語学、科学リテラシー等） | <ul style="list-style-type: none"> ●外国語コミュニケーションの強化支援 ●世界に通用する職業育成事業 | <ul style="list-style-type: none"> ●留学生交流の日常化（ホームステイ、姉妹校強化） ●一人一ボランティア推奨 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●社会は変革する夢のある研究開発を促進 ●快適で安全な交通移動システム、超臨場感観戦技術、義肢・アシスト技術、自然災害の予測・観測技術 | <ul style="list-style-type: none"> ●年齢や障害を問わないユニバーサルデザインのための技術 ●科学館から日本の夢、科学を発信 | <ul style="list-style-type: none"> ●安定でスマートなエネルギー確保とその供給社会 ●若手、外国人、女性研究者が“研究したい国”の実現（Research in Japan） |

東京のオリンピックではなく、日本、そしてアジアのオリンピックに

検討に当たりご意見を伺った方々

職員からのアイデア

- 省内意見募集(約350件)
- 熟議の開催(2回)
ファシリテーター: 塩瀬隆之元京大准教授

市民からのアイデア

- 「政策のための科学」プロジェクトチーム(京都大学「PESTL」)
 - ・市民ワークショップにおける議論
 - ・サイエンスアゴラ(11月9日・10日開催)におけるアンケート実施

研究者や研究機関へのアンケート調査

- 研究開発を進める上で隘路となっている事例及び改革方向性について
(御意見を伺った研究者・機関)
 - ・東京大学生産研究所教授
 - ・慶應義塾大学医学部教授
 - ・名古屋大学大学院理学研究科教授
 - ・(独)産業技術総合研究所名誉リサーチャー
 - ・東北大学
 - ・筑波大学
 - ・東京大学
 - ・京都大学
 - ・(独)宇宙航空研究開発機構
 - ・(独)海洋研究開発機構
 - ・(独)物質・材料研究機構
 - ・(独)科学技術振興機構

若手アスリート

- 元陸上選手
為末大氏
- 元バレーボール選手
朝日健太郎氏
- 元プロアイスホッケー選手
坂田淳二氏

若手アーティスト

- 書家・紫舟氏
- 歌舞伎役者・中村壺太郎氏
- メディアアーティスト・猪子寿之氏
- アーティスト 山出淳也氏
- 40歳以下デザイナー有志

多彩なコミュニティ

- 東京都教育委員・乙武洋匡氏
- 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)
(デルファイ分析を用いた将来技術予測に基づく意見交換)
- JST研究開発戦略センター(CRDS)
- 産業界(日本電気・日立製作所)
- RU11(研究担当理事・副学長)
- 在京3科学館※

国内外科学館連携による戦略的情報発信について議論(3回)

(※国立科学博物館、日本科学未来館、科学技術館)

現役学生、若手研究者

- 現役大学生・大学院生
(筑波大学、静岡大学、STeLA)
- 筑波大体育専門学群長
真田久教授及び関係教員
- 東工大地球生命研究所(WPI)
廣瀬啓所長
- 日本学術会議若手アカデミー

夢ビジョン
勉強会

クロストークの結果概要(科学技術チーム)

「政策のための科学」プロジェクトチーム(京大「PESTL」)

- オリンピック・パラリンピック開催を通過点とした「2030年に目指すべき姿」
 - ・東京も地方もそれぞれの魅力を引き出す社会インフラ創出
 - ・参加者の成功体験持続
 - ・高齢者の活力活用によるカッコイイと思える日本社会の実現
 - ・日本の良さが十分に海外にアピールされている社会の実現
- 2030年に目指すべき姿に向けた夢・価値観
 - ・他者とのつながり・多様性
 - ・安全・安心
 - ・日本の誇り
 - ・日本社会の快適性・利便性・効率性

産業界(NEC、日立)

- 1964年オリンピックはハードの開発という単一目標に向かえばよかったが、これからは個々の技術をいかにつなぎ、継続的なビジネスを創出するかが課題。
- 東京オリンピックを、単なる特需と捉えるのではなく、アフターオリンピックに社会がどう変わるのかが重要。
- 今後ITに何が出来るか、何を求めることができるか、モノやサービスではなく、何か“いいね”といってもらえる新しいものを考えていかなければいけない。
- 顔認証技術の実利用にあたっては、個人情報に係る法規制などの社会的制約もクリアしていくことが必要。
- ビッグデータの活用にあたっては、プライバシー保護について、制度がないことが逆に課題となっている。

40歳以下デザイナー有志とのクロストーク

- 民(たみ)によるオリンピック
行政がやるべきことは、個人による自主的な取組をしやすくする環境の醸成(例:場の提供、オリンピックに関する各種規制の対応、ムーブメント)
- 人生を変えるデザイン⇒社会、世界を変える
- Human Innovation
- 2030年、日本は何で戦うのか。それを決めてプレゼンする場がオリンピック。
- 「ものづくり」から「ものがたり」へ
 - ・オリンピックでつくられた価値がシェアされ、新しい社会が創出。共感をどれだけ生み出せるか。
 - ・「未来を共有して欲しい」というメッセージが伝わるとよい

現役大学院生 (STeLA、静岡大学)

- リニアなどの大掛かりな最新科学でもてなすのではなく、様々な分野の最新技術をたくさん盛り込んでアピールすると良いと思う。
- 東京オリンピックの機会を利用して他国の研究者と交流をすることで、より日本の研究を発展させていくべき。
- 2020年に向けて日本の良さを海外に知ってもらう為には、海外への情報発信を多くするのが一番良い。
- オリンピック開催までには日本の活性化も必要であるが、まずは原発の「安全」を確保することが重要。
- アカデミックにとじない研究者キャリアパスが必要。

下村博文文部科学大臣記者会見録 (平成26年1月14日)より一部抜粋

このビジョンは、「オリンピック・パラリンピックの成功は、日本人・日本社会の転換の上に成り立つ」との考えに立って、省内職員からの約350件に上る提案のほか、市民とのワークショップや各界との集中的な意見交換から出てきたアイデアを、一つは、ワクワク・カッコいいといった「感動」、二つ目に、国や世代を超えた「対話」、三つ目に、快適性や安全・安心などを生み出す「成熟」というふうに整理をしながら、「オリンピックの感動に触れる。私が変わる。社会が変わる。」、このコンセプトを導いております。

対話型パブコメへの参加方法

私たちの行う対話型パブコメには、三つの方式があります。

【方法1】 対話式



PESTI& パブコメ普及協会が実施するワークショップに参加し、パブコメを書く。所要時間は1時間から。

【方法2】 訪問 アンケート式



PESTI& パブコメ普及協会がみなさんの集まっているところにお伺いするので、そこでアンケート式のパブコメを書く。所要時間は15分から。

【方法3】 インターネット 回答式



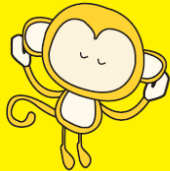
PESTI& パブコメ普及協会の特設ウェブサイトを訪見し、質問フォームに答えてパブコメを書く。所要時間は10分から。

連絡先

〒606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町
京都大学物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)
科学コミュニケーショングループ
対話型パブリックコメント担当

Email: taiwa@pesti.jp

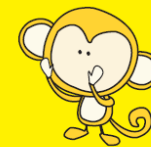
 対話型パブリックコメント



パブコメ
普及協会 × 

対話型パブコメのススメ

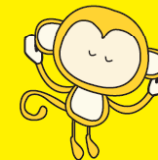
知ろう
語ろう
届けよう



話すモンキー



見るモンキー



聞くモンキー

© 対話モンキーズ

パブコメ
普及協会 × 

市民のみなさんの声を政策に届けませんか？

パブリックコメントってご存知ですか？国や自治体が政策をつくっていく上で、広く市民のみなさんから意見や情報を募集する仕組みのことです。1人で未来を考えるのが大変だったら、みんなで考えてみましょう。みんなで話したら、思いもよらないアイデアにたどり着くかもしれません。私たちが、みなさんの声を政策に届けるお手伝いをします。みなさんのご参加、お待ちしております。

対話型パブリックコメントって？

対話型パブリックコメント(略して対話型パブコメ)は、従来のパブリックコメントを発展させた、新しいパブリックコメントの仕組みです。私たちが行う対話型パブコメには、三つの方式(対話式、対面アンケート式、インターネット回答式)があります。それぞれの特徴については、裏表紙をご覧ください。

特長

- ・様々な場におもむき、多様な市民のみなさんの声を積極的に聞きに行きます。
- ・パブリックコメントの背景(意見の収集・集約プロセスや意見が出された文脈・背景、さらに対象地域の特性)も、コメントと一緒に提出します。
- ・コメントがどのように政策形成に反映されたかを情報公開するだけでなく、希望する意見提出者や社会にフィードバックします。



意見が政策に届くまでの流れ

(1) 各府省庁・自治体によって、政策案が決まる

(2) 対話型パブコメの実施



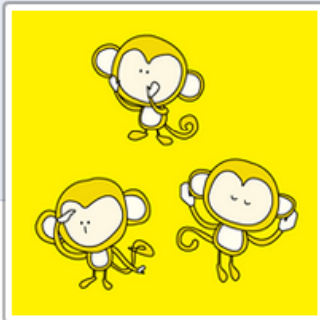
(3) 集まったコメントの集計・まとめ

(4) 各府省庁・自治体に対話型パブコメの結果をお届け

みなさんの意見を
政策に届けます



PESTI&パブコメ普及協会は「対話型パブコメ」の仕組みを使って、より多様な市民のみなさんの声を政策につなげることを目指して活動を行っています。



対話型パブリックコメント

いいね！ 195人・話題にしている人21人

ページ情報を更新

✓ 「いいね！」しています ▼

✓ フォロー中 ※ ▼

カバーを追加

コミュニティ

対話型パブリックコメント（略して対話型パブコメ）は、従来のパブリックコメントを発展させた、新しいパブリックコメントの仕組みです。

基本データ

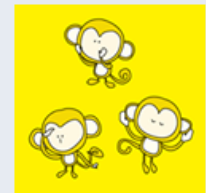


写真

いいね！ 195

いいね！

広告でページを宣伝

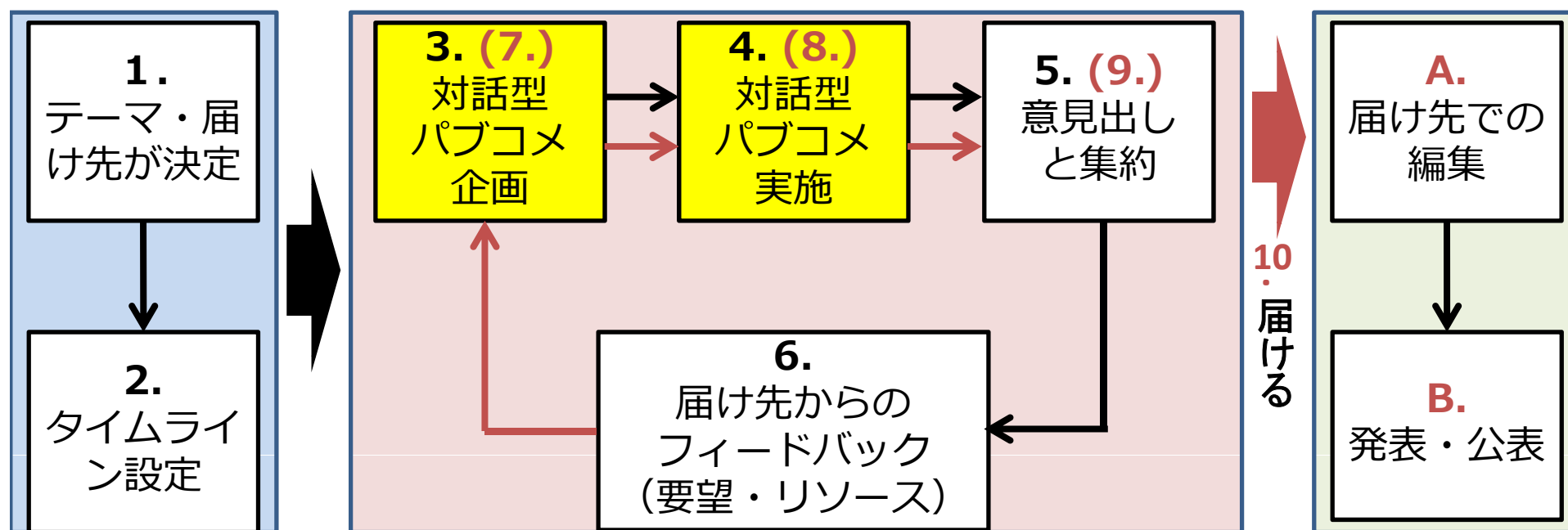


対話型パブリックコメント

シンポジウムはいよいよ明日4/29開催です。当日参加可能ですのでぜひお越し下さい。受付時間：12:30から受付開始 受付場所：会場前 ※会場：「グランフロント大阪 北館タワーC...

いいね！ 1 共有 1

対話型パブリックコメントの企画と実施



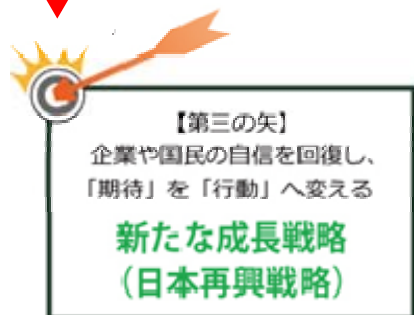
対話型パブリックコメント・方法1「対話式」

第1回「知ろう」(9/30)



吉澤 剛(よしざわ ごう)
大阪大学大学院医学系研究科
医の倫理と公共政策学教室・准教授
博士(科学技術政策)

アベノミクス第三の矢と
科学技術政策を解説
(Ustream+Youtube)



アベノミクス第三の矢
(首相官邸ウェブページより)

第2回「語ろう」(10/28)



PESTIワークショップシリーズ
知ろう・語ろう・届けよう 科学技術イノベーション政策：第2回「語ろう」

2030年の日本の社会と
これからの科学技術について語ろう

将来ビジョン+
科学技術イノベーション
をブレインストーミング



アウトプットとして得られた
「将来ビジョン+科学技術イノベーション」
の1枚説明書き(ポンチ絵)の一例

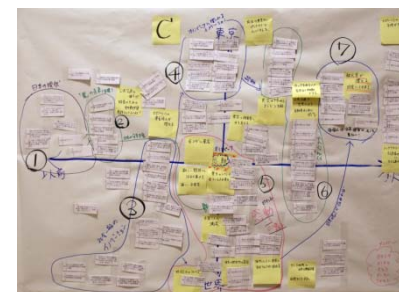
第3回「届けよう」(11/25)



PESTIワークショップシリーズ
知ろう・語ろう・届けよう 科学技術イノベーション政策：第3回「届けよう」

日本の未来像から
今すべきことを考える

第2回の「将来ビジョン+
科学技術イノベーション」
をコンセプトマッピング

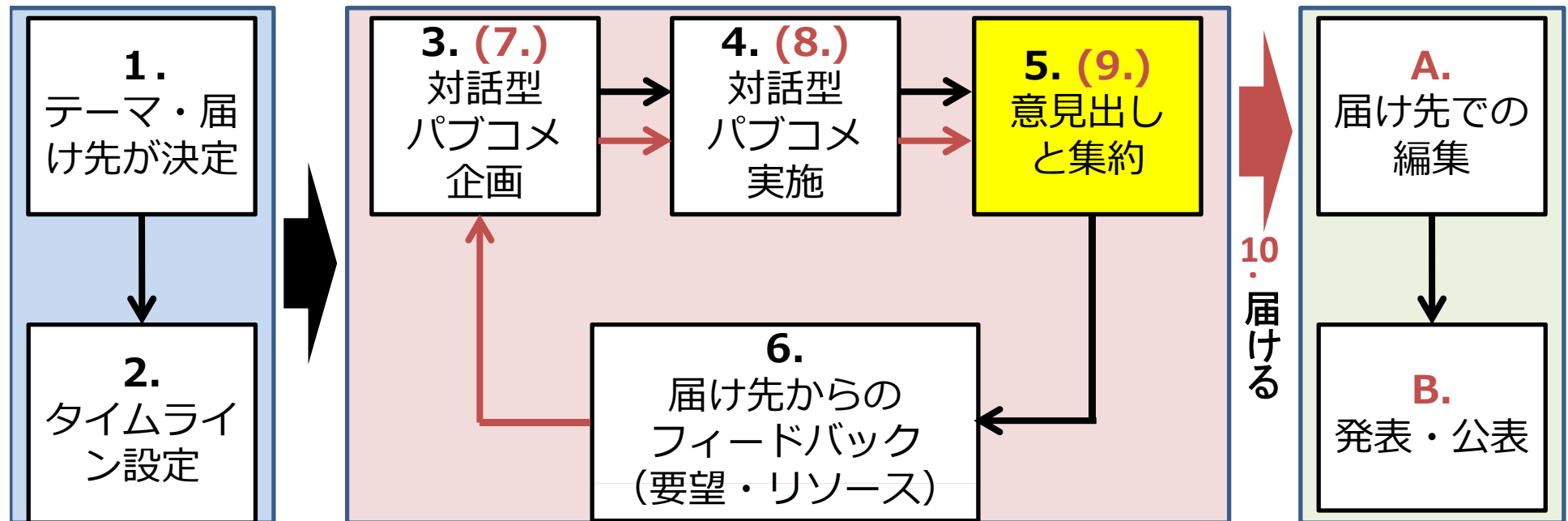


アウトプットとして得られた
「将来ビジョン+科学技術イノベーション」
のコンセプトマップの一例

情報のインプット

第2回WSのブレスト結果
+
文部科学省内でのブレスト結果

意見の収集・集約



ビジョン

「対話」「感動」「成熟」

集約

価値観の大枠

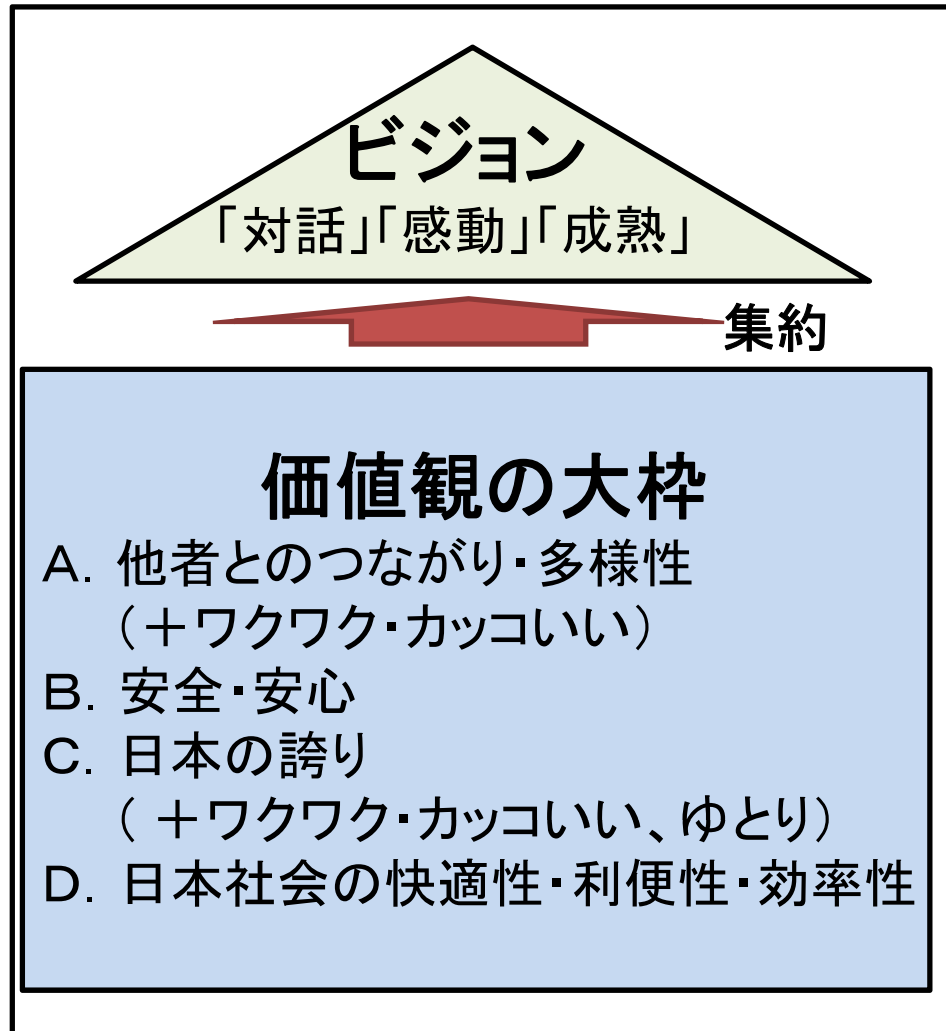
- A. 他者とのつながり・多様性
(+ワクワク・カッコいい)
- B. 安全・安心
- C. 日本の誇り
(+ワクワク・カッコいい、ゆとり)
- D. 日本社会の快適性・利便性・効率性

集約

意見(119件)

国民(74件) 文科省(45件)

技術予測との関連づけ



紐づける

NISTEP デルファイ技術予測 (2020年頃技術的実現)

◆ 政府が2020年に実現を目指す先端科学技術

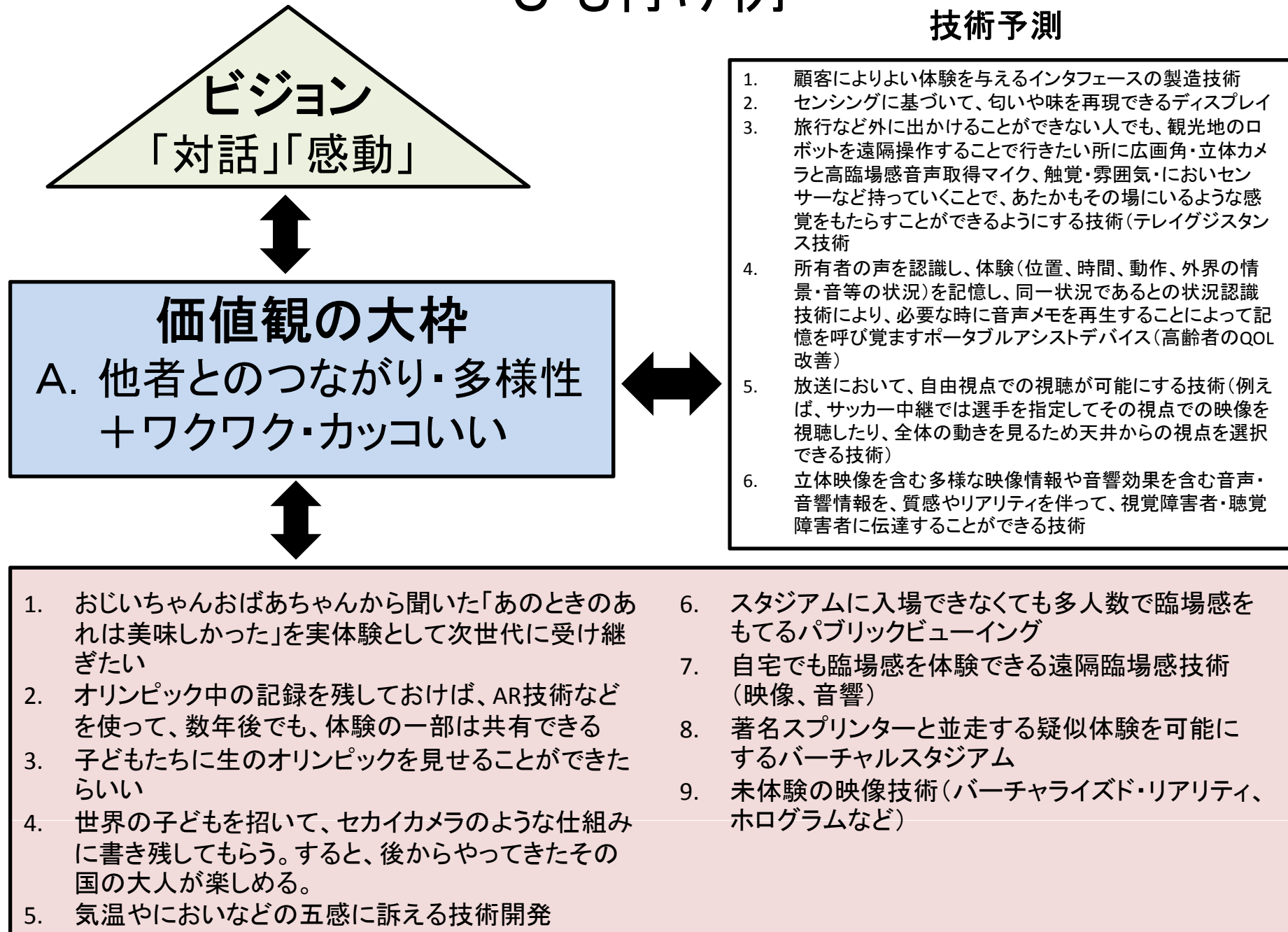
※いずれも現時点 ← 前倒し

主な内容	開発完了の見込み	実用化の見通し
局地豪雨や竜巻などの自然災害を1時間前に予測し、避難誘導に活用	← 2019年	← 2027年
パスポートなしで、生体認証により出入国などができる	← 2017年	← 2028年
触覚など感覚機能を備えた義手・義足の開発	← 2020年	← 2028年
視覚、聴覚障害者がイメージしたことを可視化・言語化して伝達	← 2028年	← 2037年
首都高速に「オリンピッククレーン」を作り、無人運転で輸送効率を3倍に	← 2020年	← 2031年
地名や特有の文化など背景も理解して自動翻訳するシステム	← 2020年	← 2029年

読売新聞 2014.1.5.

ひも付け例

技術予測





http://www.mext.go.jp/a_menu/yumevision/index.htm



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

会見・報道・お知らせ

政策・審議会

白書・統計・出版物

申請・手続き

文部科学省の紹介

[トップ](#) > [その他](#) > [夢ビジョン2020 ～徹底的に「みんなの夢」を語ろう～](#)

● 夢ビジョン2020 ～徹底的に「みんなの夢」を語ろう～



このページでは夢ビジョン2020について紹介しています。

夢ビジョン新着情報

関連イベント

平成26年4月29日(火曜日)13時00分～15時00分

[シンポジウム「大阪発！2020オリンピックイヤーへの夢ビジョン～科学技術イノベーション政策にモノ申してみた～」](#)(※PESTIイベントホームページへリンク)

(開催場所 うめきた・グランフロント大阪 北館タワーC 8階ナレッジキャピタル、カンファレンスルーム(Room 01 + 02))

平成26年5月28日(水曜日)19時00分～21時00分

[夢ビジョンクロストーク～「2020年に向けてこれだけは話しておきたい」～\(仮称\)](#)(ホームページ作成中 ※おって詳細を掲載予定)

(開催場所 [文部科学省旧庁舎1階情報ひろばラウンジ](#)(※[文部科学省情報ひろばホームページ](#)へリンク))